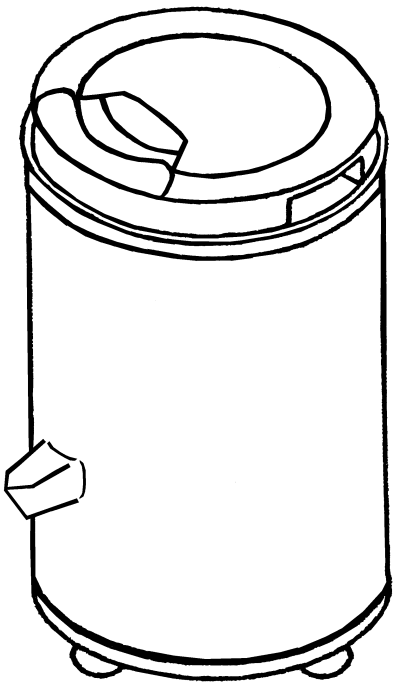
SOMELA

CE

ソメラ高速脱水機

取扱説明書〈保証書付〉

型 式　C-14L SS



もくじ

●安全上のご注意 ……1～3
●各部のなまえ……3
●ご使用前の準備……4
●高速脱水機の特徴……5
●脱水前のポイント……5
●洗濯物の正しい入れ方……6
●運転方法……7
●お手入れの方法……8
●故障かな？と思ったら……8
●製品仕様……9
●保証書とアフターサービスについて……9
●保証書 ……10

このたびは、ソメラ高速脱水機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この「取扱説明書〈保証書付〉」をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（1 ～ 3 ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

■安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
なお、ここに書かれた内容でお客様が購入された商品の仕様には含まれない項目も記載されています。
●表示の意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり＊物的損害の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意

△は、注意（危険、警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「感電注意」を示します。

分解禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。

プラグを抜く

●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠警告

使用禁止

この製品は家庭用です。業務用での使用や、脱水容量を超えての使用、衣類・タオル以外の物を脱水機にかけないでください。

本体が破損してけがをしたり、ブレーキが早く摩耗して止まらなくなるなどの故障の原因になります。

スイッチハンドルをOFFにし、ふたを開けても脱水槽が止まっていない場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。脱水槽が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物に手などを触れないでください。

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをすることがあります。

接触禁止

靴・サンダル類は絶対に脱水機にかけないでください。

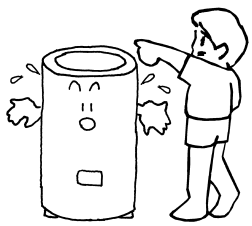
飛び出してけがの原因になります。

禁止

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

感電・けがの原因になります。

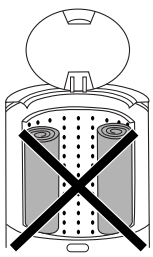
使用禁止



衣類等をまとめて向かい合わせに入れないでください。

洗濯物が飛び出したり、異常振動の原因になります。

禁止



洗濯物を洗濯ネットに入れて脱水しないでください。

洗濯物が飛び出したり、異常振動の原因になります。

ネット使用禁止

⚠警告

防水性繊維製品の脱水にはご使用にならないでください。

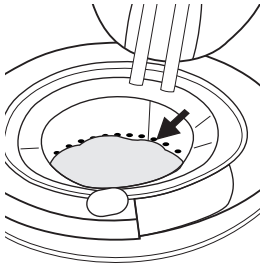
洗濯物が飛び出したり、異常振動して、けがをしたり、脱水機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。

寝袋、防水性ジャンバー、雨ガッパ、スキーウェア、自動車・自転車カバー類、ビニルシートなど

使用禁止

一番上の脱水孔以上に洗濯物を詰め込まないようにしてください。

洗濯物が飛び出す原因となります。



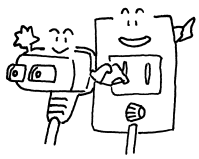
詰め込みすぎ禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。

発火したり、異常動作してけがの原因になります。

分解禁止

電源は壁コンセントを使ってください。



コンセント使用

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。またぬれた手で抜き差ししないでください。

感電・ショートやけがの原因になります。

プラグを抜く

アースを確実に取り付けてください。

・故障や漏電のとき感電の原因になります。
・コンセントにアース端子がなくアース工事を行う場合は電気工事店にご相談ください。

アースをつける

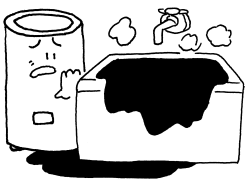
電源プラグ、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

火災の原因になります。

プラグを拭く

浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けないでください。

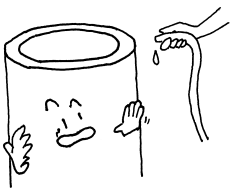
感電・火災・故障・変形の原因になります。



水場での使用禁止

お手入れするときなどでは、本体各部に直接水をかけないでください。

ショート・感電の原因になります。



水かけ禁止

脱水槽には、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等やそれらが付着した洗濯物を絶対に入れたり近付けたりしないでください。

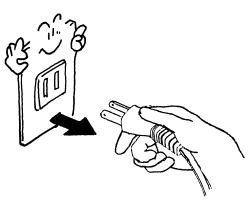
爆発や火災の原因になります。

引火物禁止

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火の原因になります。



プラグを持つ

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください。

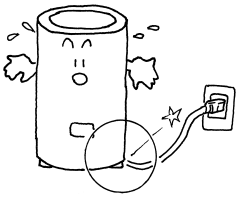
感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止

⚠注意

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



傷つけ禁止

電源は交流100Ｖ以外では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

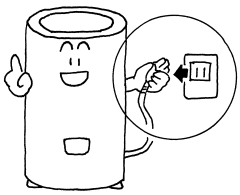
100Ｖ以外禁止

脱水機の上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。

変形・破損によりけがの原因になります。

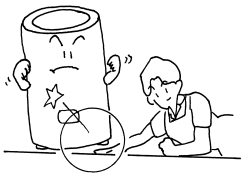
長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



運転中は脱水機の下に手足等を入れないでください。

回転部があり、けがの原因になります。



接触禁止

脱水中は必ずキャップを床面に水平に正しく入れてください。

フタが破損したり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。

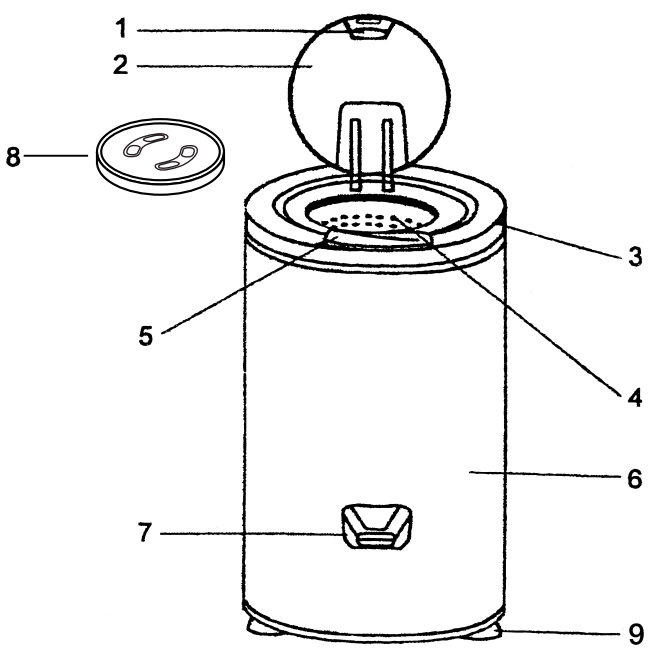
キャップ使用

運転終了後、脱水機を排水口側に傾けて排水してください。

脱水が終わっても内部に少量の水が残っています。

排水する

■各部のなまえ

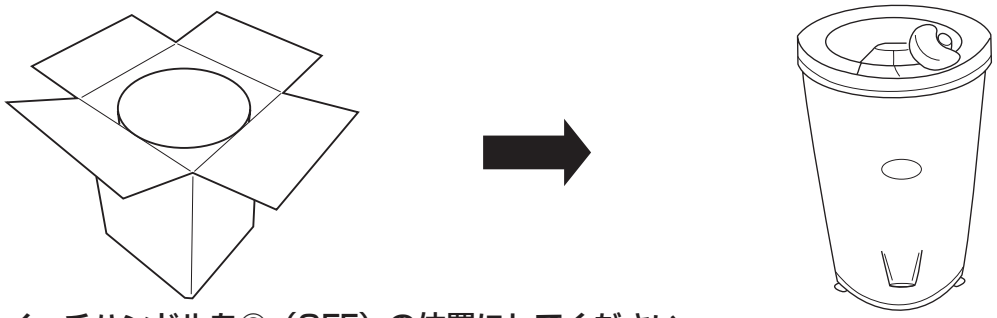


1.ーホルダー
2.ーフタ
3.ー取っ手
4.ー脱水槽
5.ースイッチ･ハンドル
6.ー本体
7.ー排水口
8.ーキャップ（樹脂製）
9.ー脚

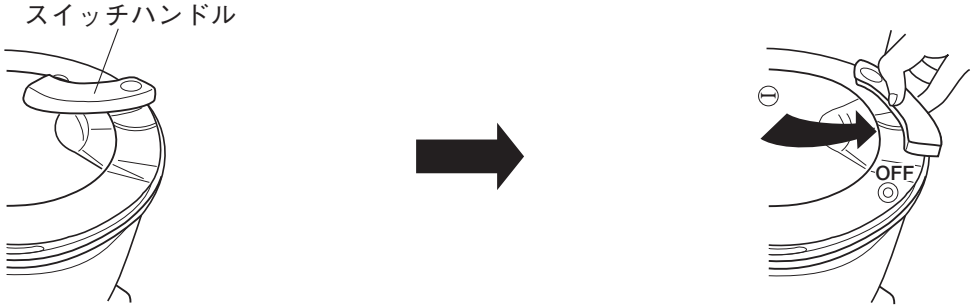
※本体内部に黒いプラスチックの輸送用補強材が入っていますので取り外しの上ご使用ください。

■ご使用前の準備

1．商品を箱から取り出し、水平な場所に置いてください。

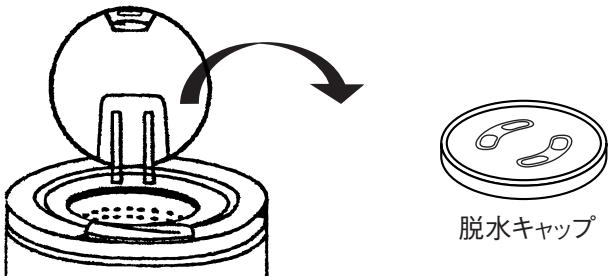


2．スイッチハンドルを◎（OFF）の位置にしてください。



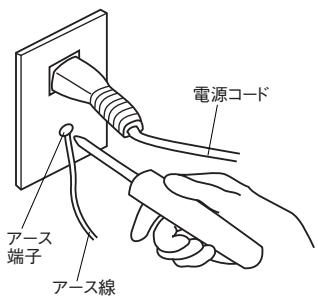
3．フタを開け、脱水槽の中にある輸送用の補強材（黒）を取り外してください。

5．バケツ、脱水キャップを脱水槽から取り出してください。



4．感電事故防止のためにアース線をアース端子にしっかりと接続し、電源プラグを壁コンセントに差し込んでください。

コンセントにアース端子がなく、アース工事を行う場合は電気工事店にご相談ください。



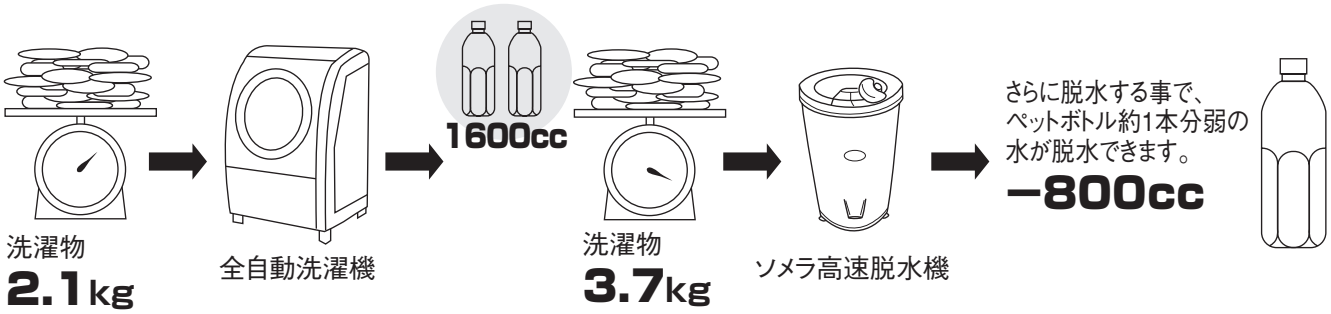
（注1）タイルやフローリングの上など滑りやすい場所で使用しますと、起動時又は停止時に本体が回転したり、動いたりすることがあります。この様な場合は本体下部にゴムマットなどを敷いてご使用ください。

（注2）本商品を設置する場所の床材の材質により、本体のゴム足との接地面がごくまれに化学反応を起こし、床材の表面が変色する事がありますので、充分ご注意お願い申し上げます。

■高速脱水機の特徴

一般的な洗濯機の約2倍の脱水力（当社比）**。乾燥時間がグーンと短縮されます。**

こんなにしぼれるから、乾きがはやい。



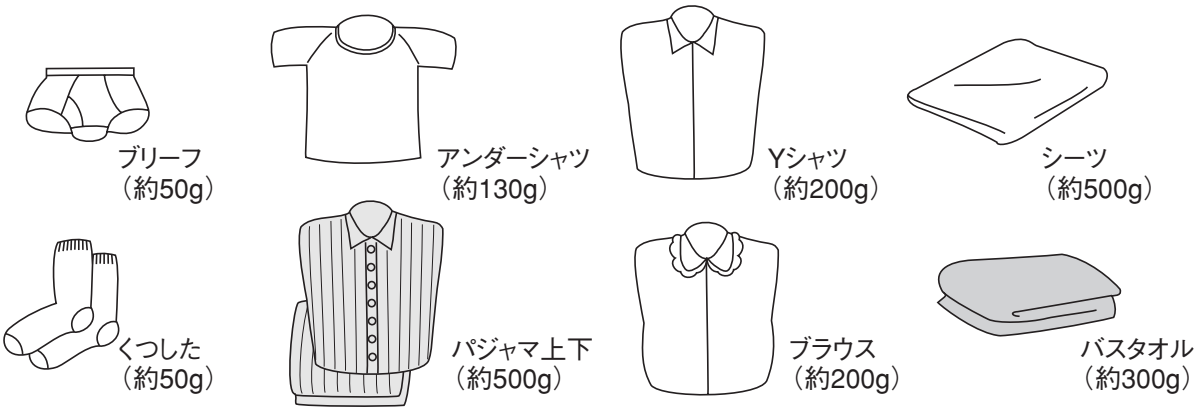
一般的な洗濯機で2.1kgの洗濯物を洗濯すると約3.7kgになります。
そのとき洗濯物は約1600cc（約ペットボトル2本分）の水を含んでいます。
ソメラ高速脱水機にて脱水をおこなうと、さらに約800cc（約ペットボトル1本分）の水を脱水できます。

●洗濯物の乾燥時間は、約1/2になります。
●衣類に残った洗剤も一緒に脱水し、室内干しの際のアレルギー対策になります。
●1回の脱水でかかる電気代はわずか1円たらずです。（5分間）
※いずれもメーカー調べ

■脱水前のポイント

●脱水量について
脱水容量はJISで規定された布を脱水したときの容量です。洗濯物の種類、厚さ、大きさによって脱水量が変わります。およその量を覚えて、入れすぎないように注意してください。
洗濯物は、一度洗濯機で脱水したものか、手で良くしぼったものを脱水槽に入れてください。

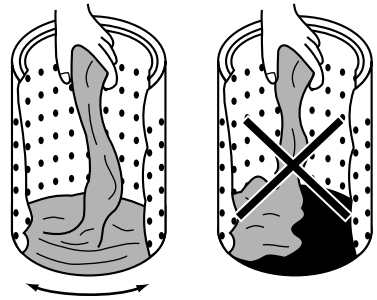
洗濯物1枚あたりの質量の目安



●ポケットの中の異物は取り除いてください。
●脱水前に、ラベルなどに防水性・はっ水性等の表示があるかどうか、また取り扱い絵表示を確認をしてください。
●ファスナーは閉めてください。エプロンなどのひもは結んでください。
●靴・サンダル類など、衣類・タオル以外のものは絶対に脱水槽に入れないでください。
●洗濯用ネットはご使用にならないでください。

■洗濯物の正しい入れ方

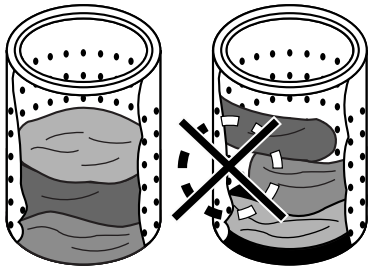
1



正　　誤

洗濯物を１枚ずつ伸ばし、脱水槽の底面から均等にまんべんなく収まるように入れていってください。重いものは下の方に、軽いものは中ほどに入れてください。

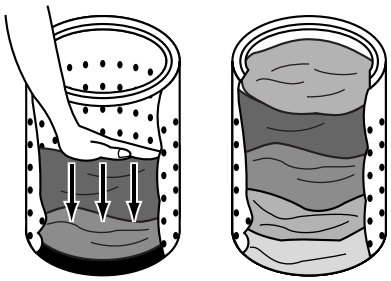
2



正　　誤

洗濯物と洗濯物の間に、すき間のできないようにしてください。
すき間があると、脱水機の安定性が悪くなり、回転音がうるさくなったり、揺れが激しくなることがあります。

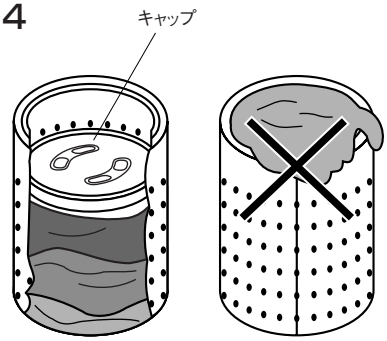
3



正　　誤

洗濯物を全部入れ終わりましたら、洗濯物を手のひらで上から十分に押し込み、すき間をなくしてください。一番上の脱水孔以上に洗濯物を詰め込まないようにしてください。

4



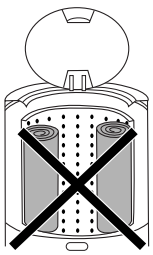
正　　誤

キャップを脱水槽の中の洗濯物の上に置いてください。
脱水中の洗濯物のずれを防ぎます。

衣類等をまとめて向かい合わせに入れないでください。

洗濯物が飛び出したり、異常振動の原因になります。

禁止



洗濯物を洗濯ネットに入れて脱水しないでください。

洗濯物が飛び出したり、異常振動の原因になります。

ネット使用禁止

使用禁止

靴・サンダル類・その他衣類・タオル以外の物や脱水容量を超える量の衣類は入れないでください。
防水性繊維製品の脱水には、ご使用にならないでください。

本体が破損してけがをすることや、ブレーキが早く摩耗して止まらなくなるなど故障の原因になります。

キャップ使用

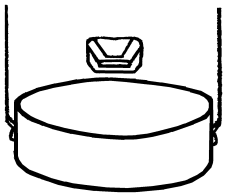
キャップは必ず脱水槽の中の洗濯物の上に床面に対して水平に正しく置いてください。

フタが破損したり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。

■運転方法

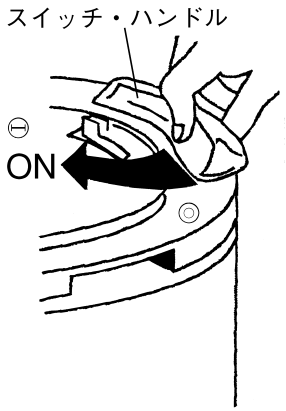
1　フタを閉めてください。

2



排水口に水受けの入れものを置いてください。

3



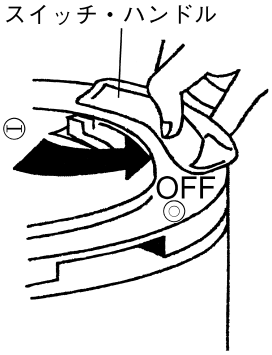
片手で本体を押さえながら、スイッチ･ハンドルを①(ON)の位置に回してください。脱水機が自動的に運転を開始します。

注意 ： この脱水機には安全装置が付いており、フタを開けた状態では、スイッチハンドルをONの位置に回すことができないようになっています。脱水機の揺れや振動の激しい場合は、5にしたがって脱水機を止め、洗濯物を入れ直してから、またスタートしてください。

4

運転を開始すると、排水口から水が出始めます。水があふれすぎないように注意してください。

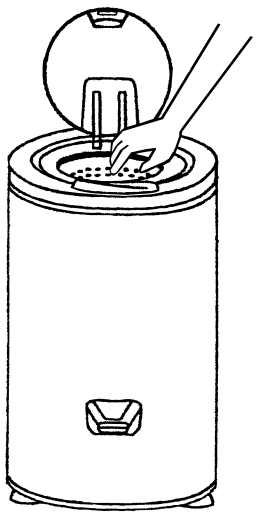
5



洗濯物の量にもよりますが、2～3分で排水がほぼ止まります。水が出なくなりましたら、片手で本体を押さえながら、スイッチ･ハンドルをゆっくりと◎(OFF)の位置に回してください。脱水機の運転が止まります。スイッチ･ハンドルを急に回しますと、いきおいで本体が回転することがあります。

注意 ： この脱水機には、安全装置が付いており、脱水機が回転中は、フタを開けることができないようになっています。無理にフタを開けないようにしてください。

6



脱水機の回転が完全に止まってから、洗濯物を取り出してください。

⚠ 警 告

･脱水槽が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物に手などを触れないでください。ゆるい回転でも手に巻きついてけがをすることがあります。
･スイッチハンドルをOFFにし、ふたを開けても脱水槽が止まっていない場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

7　電源コードをコンセントから外してください。

8　脱水機の中に残った水を出すために、脱水機を排水口側に傾けて、水を全部出してください。

（注）･脱水時間は約3～5分ですので、運転中はそばを離れないでください。
･10分以上の連続運転はしないでください。
･スイッチハンドルをOFFにし、本体が止まる時にブレーキがかかる為、ゴムの焼けるような臭いがでることがありますが、特に故障ではありません。

■お手入れの方法

●本体・脱水槽・プラスチック部のお手入れ

乾いたやわらかい布で拭いてください。
研磨剤や溶剤などは絶対に使用しないでください。

●保　管

ご使用にならない時は、乾燥した室内にて保管してください。

■故障かな？と思ったら

●音がうるさい、振動が大きい

スイッチ・ハンドルをOFFにして、洗濯物を入れ直して、再度運転を開始させてください。洗濯物の間に空間があるとバランスが悪くなり、音が大きくなったり、振動が大きくなることがあります。

●運転が開始されない

フタをしっかりと閉じ、スイッチ・ハンドルをしっかりとONの位置にしてください。

●フタをすぐ開けられない

脱水機の回転が完全に止まってから再度試してください。

●スイッチ・ハンドルをOFFにしてもなかなか脱水槽が止まらない

スイッチ・ハンドルをOFFにしても10秒以上脱水槽が止まらない場合は使用を中止し、修理サービスを依頼してください。

●本体が止まる時、ゴムが焼けるような臭いがする

スイッチ・ハンドルをOFFにするとブレーキがかかり臭いがでることがあります。脱水中でなく本体が止まる時だけであれば、故障ではありません。

●脱水機の中に水が残る

脱水が終わっても内部に少量の水が残ります。脱水機を排水口側に傾けて排水してください。

（注）本商品を廃棄する場合は、各地域のゴミ分別方法にしたがって、燃えないゴミもしくは粗大ゴミとして扱ってください。不法投棄は絶対におやめください。

■製品仕様

定格電圧	単相100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格時間	10分	
定格消費電力	230/250W	
外形寸法	直径350㎜×高さ615㎜（排水口ノズル除く）	
本体重量	10.0㎏	
脱水容量	2.1㎏（乾いた衣類の状態）	
主要部の材質	本体	ステンレススチール
	脱水槽	

■保証書とアフターサービスについて

●この商品には保証書を添付しております。保証書は本取扱説明書10ページにございます。
●保証書はお買上げの販売店で発行しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認ください。
●この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
●修理品に関する問い合わせ：
日本ゼネラル・アプライアンス（株）技術部　TEL 03-5643-1331（代）
●修理品の送り先：
〒210-0869　神奈川県川崎市川崎区東扇島22-4
東洋運輸倉庫（株）JGA修理センター　宛
TEL 044-281-2171
（こちらでは修理品に関するお問い合わせには対応できません。）
修理内容を明記の上、お送りください。
保証中の場合は、保証書（またはコピー）もしくは購入日を確認できるものを添付してください。
●保証期間はお買上げの日から1年間です。
保証期間中の修理でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については有料修理となります。
保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店または、保証書に記載してある弊社にお問い合わせください。
●この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ソメラ高速脱水機　C14L SS　保証書

持込修理

無料修理保証期間	【お買い上げ日より1年間】	保証部分：電気部品のみ
	年　月　日より　年　月　日まで	
お客様 ご住所 （フリガナ） お名前	□□□-□□□□　TEL（　）　— 様	
販売店　店名 住所	TEL（　）　—	印

●この保証書はお買上げの日から 1 年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明のある場合には、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

（1）万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。

（2）無料修理は、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にご依頼ください。また、無料修理をお受けになる際は、必ず本書をご提示ください。

（3）離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係わる費用は実費を頂きます。

（4）次の様な場合には、保証期間中であっても、保証対象外。

（イ）誤った使用方法あるいは取扱上の不注意による故障や損傷。

（ロ）不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。

（ハ）お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。

（ニ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。

（ホ）一般家庭用以外（例えば、プールやスポーツクラブ・温泉施設や健康センター等でのご使用、業務用での長時間使用、車両や船舶への搭載）に使用した場合の故障や損傷。

（ヘ）本書の提示がない場合。

（ト）お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。

（5）本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan.

（6）修理内容の記載欄は、修理伝票等の発行をもって代替させて頂きます。

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

本　　社　〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビルディング9F
TEL（03）5643-1331（代）　FAX（03）5643-1335

大阪支店　〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場1-16-10　大阪岡本ビル6F
TEL（06）6125-2620（代）　FAX（06）6125-2607

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

東京本社： 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビルディング9F
TEL （03）5643-1331（代） FAX （03）5643-1335

大阪支店： 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル6F
TEL （06）6125-2620（代） FAX （06）6125-2607

PUB. NO. 77U1202